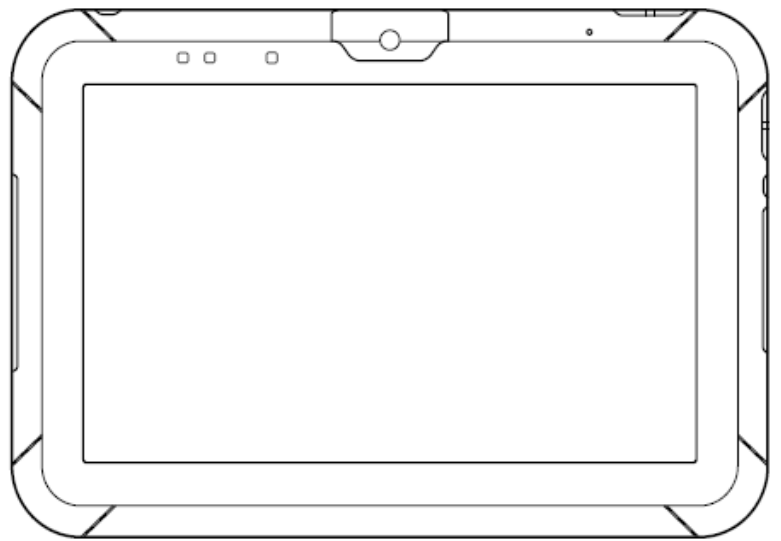


# カメラスキャンニングツール 操作マニュアル

このマニュアルは、カメラスキャンニングツール [Camera Scanning Tool] の操作方法について記載します。



#### **ご注意**

- このソフトウェアおよびマニュアルの、一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- このマニュアルの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
- 本書中に含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。予めご了承ください。

© 2014 カシオ計算機株式会社

Microsoft, MS, Windows Media Player, Windows, Windows XP, Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft 社の製品は、OEM 各社に、Microsoft Corporation の 100%出資子会社である Microsoft Licensing, Inc.によりライセンス供与されています。

# 目次

1.	はじめに	2
1.1	動作環境	2
1.2	インストール	2
2.	ソフトウェアキーボードとして利用するには	4
2.1	起動方法	4
2.2	画面説明	5
2.3	バーコード読み込み方法	5
3.	アプリケーションから明示的に呼び出すには	6
3.1	Intentによる呼び出し方法	6
3.1.1	起動対象アプリケーション	6
3.1.2	スキャンオプション	6
3.1.3	サンプルソース	8
3.2	読み取り結果取得方法	9
3.2.1	サンプルソース	9
4.	WEBアプリケーションから呼び出すには	10
4.1	起動対象URI	10
4.2	スキャンオプション	10
4.3	サンプルソース	10
4.4	利用例	11
5.	設定を変更するには	12
5.1	設定方法	12
5.2	設定内容	12
5.2.1	1Dコード	12
5.2.2	2Dコード	13
5.2.3	デバイス	13
5.2.4	ツール	13

# 1. はじめに

本書は、カメラスキャンニングツールの操作方法について説明します。

## 1.1 動作環境

項目	内容
ハードウェア	V-T500/V-N500
動作 OS	Android 4.04
必須ソフトウェア	Camera Scanning Runtime

## 1.2 インストール

端末の設定ツールを開き、「セキュリティ」メニューの「提供元不明のアプリ」にチェックが付いていることを確認します。



Camera Scanning Runtime をインストールします。

基本開発キット CD 内の¥package¥CameraScanningKeyboardxxx...xxx.apk をインストールします。

「設定」->「言語と入力」->「Camera Scanning Keyboard」にチェックを入れます。

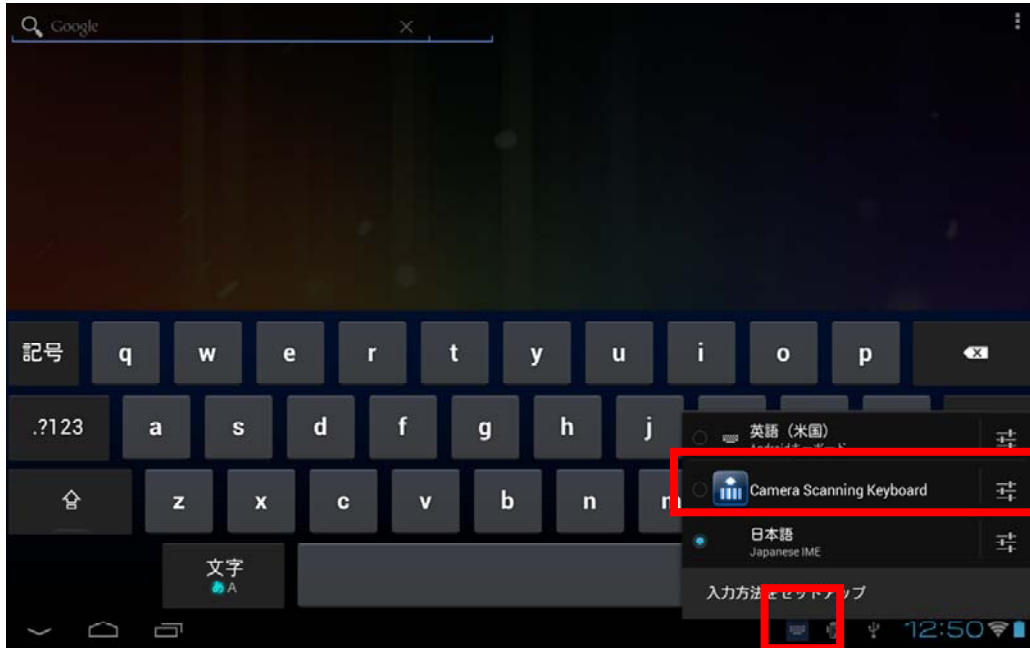


読み込むバーコードの種類や動作に関する設定は「5.設定を変更するには」を参照してください。

## 2. ソフトウェアキーボードとして利用するには

### 2.1 起動方法

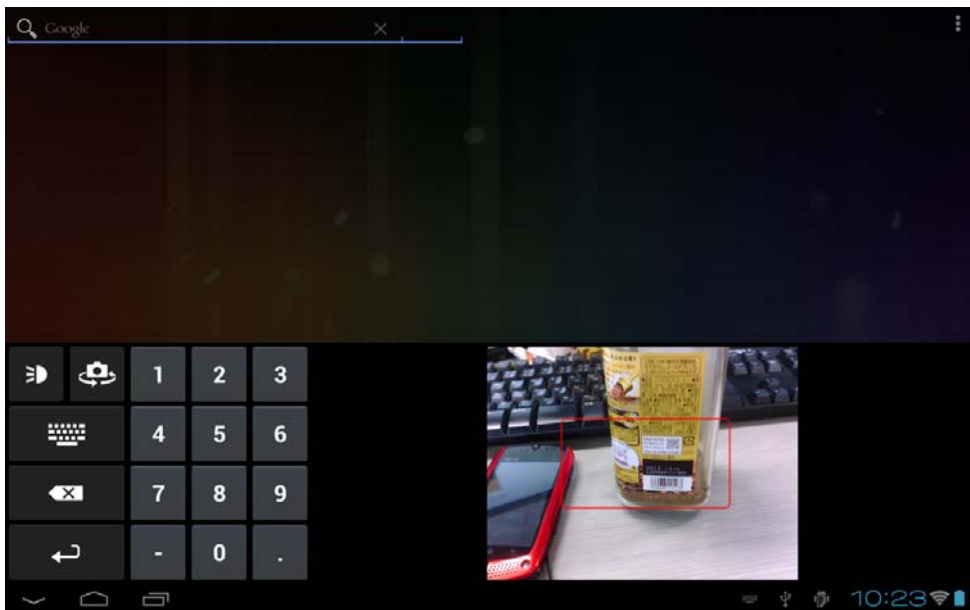
エディタや入力枠等、ソフトウェアキーボードが表示された状態で右下のキーボードアイコンをクリックします。キーボード選択メニューが表示されるので、「Camera Scanning Keyboard」を選択します。



本ツールが起動します。

以後、本ツールが標準のソフトキーボードとして動作します。

利用状況に合わせて、ソフトウェアキーボードを切り替えてください。



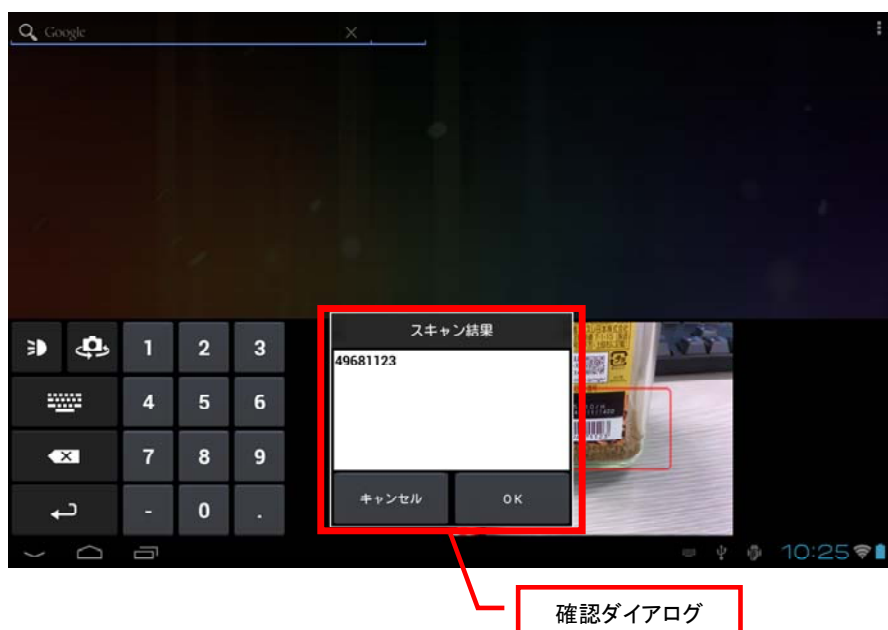
## 2.2 画面説明



項目	内容
フラッシュ ON/OFF	背面カメラ使用時、フラッシュを点灯します。前面カメラ使用時は動作しません。
前面/背面カメラ切替	前面カメラと背面カメラを入れ替えます。
ソフトキーボード切替	別のソフトウェアキーボードに切り替えます。切り替え可能なキーボード一覧が表示されるので、目的のキーボードを選択してください。
バックスペース	バックスペースコードを出力します。
リターン	リターンコードを出力します。
テンキー	0~9, -, . を出力します。
スキャンガイド	スキャンガイド付近にバーコードが写るように調整します。

## 2.3 バーコード読み込み方法

読み込むバーコードがスキャンガイド付近に表示されるように本体もしくはバーコードを調整します。読み取り成功した場合、以下の確認ダイアログが表示されますので、正しければ「OK」を選択してください。読み込みし直す場合は「キャンセル」を選択してください。



### 3. アプリケーションから明示的に呼び出すには

明示的 intent を使用してバーコード値を取得します。

ただし、このようにして呼び出された画面は、前述のソフトキーボード画面とは異なり、バーコード読み取りに特化した全画面プレビュー方式となります。



#### 3.1 Intentによる呼び出し方法

##### 3.1.1 起動対象アプリケーション

項目	内容
パッケージ名	jp.casio.vx.util.whitehole.barcodescan
クラス名	jp.casio.vx.util.whitehole.barcodescan.scanactivity

##### 3.1.2 スキャンオプション

Intent クラスの putExtra メンバに設定します。

指定のない場合は、「5.1 設定方法」で設定した値が有効になります。

設定可能な値を以下に記します。

キー	値	備考
Scan_Mode	EAN8_ENABLE	バーコードの読み込み種別を限定する場合は、限定するバーコード種別を指定します。未指定の場合は、制限なしとなります。複数の値を指定する場合は、カンマ「,」区切りで指定します。
	EAN13_ENABLE	
	UPCA_ENABLE	
	UPCE_ENABLE	
	CODE39_ENABLE	
	CODABAR_ENABLE	
	I25_ENABLE	
	CODE93_ENABLE	
	CODE128_ENABLE	
	CODE11_ENABLE	



	GS1DATABAR_ENABLE	
	PDF_ENABLE	
	MICROPDF_ENABLE	
	COMPOSITE_ENABLE	
	AZTEC_ENABLE	
	QRCODE_ENABLE	
	MAXICODE_ENABLE	
	DATAMATRIX_ENABLE	
UPC_ADDON	有効/無効(Boolean)	UPC/EAN 共通アドオン読み取り
UPC_ADDON_REQ	有効/無効(Boolean)	UPC/EAN 共通アドオン必須設定
CODE39_MIN	最小桁数(int:1~55)	CODE39 最小桁数
CODE39_MAX	最大桁数(int:1~55)	CODE39 最大桁数
CODE39_CHK	有効/無効(Boolean)	CODE39 チェックキャラクタ計算
CODE39_CHKOUT	有効/無効(Boolean)	CODE39 チェックキャラクタ出力
CODE39_SS	有効/無効(Boolean)	CODE39 スタート・ストップ出力
CODE39_ASCII	有効/無効(Boolean)	CODE39 Full ASCII 変換
CODABAR_MIN	最小桁数(int:1~55)	Codabar 最小桁数
CODABAR_MAX	最大桁数(int:1~55)	Codabar 最大桁数
CODABAR_CHK	有効/無効(Boolean)	Codabar チェックキャラクタ計算
CODABAR_CHKOUT	有効/無効(Boolean)	Codabar チェックキャラクタ出力
CODABAR_SS	有効/無効(Boolean)	Codabar スタート・ストップ出力
I25_MIN	最小桁数(int:1~55)	Interleaved 2 of 5Codabar 最小桁数
I25_MAX	最大桁数(int:1~55)	Interleaved 2 of 5Codabar 最大桁数
I25_CHK	有効/無効(Boolean)	Interleaved 2 of 5Codabar チェックキャラクタ計算
I25_CHKOUT	有効/無効(Boolean)	Interleaved 2 of 5Codabar チェックキャラクタ出力
CODE93_MIN	最小桁数(int:1~55)	Code93 最小桁数
CODE93_MAX	最大桁数(int:1~55)	Code93 最大桁数
CODE128_MIN	最小桁数(int:1~55)	Code128/GS1-128 最小桁数
CODE128_MAX	最大桁数(int:1~55)	Code128/GS1-128 最大桁数
CODE11_MIN	最小桁数(int:1~55)	Code11 最小桁数
CODE11_MAX	最大桁数(int:1~55)	Code11 最大桁数
CODE11_CHK	int	チェックキャラクタ計算 1 : type1 2 : type2
COMPOSITE_FEAN	boolean	Composite EAN 単体読み禁止 true:modeon false:modeoff
InnerCamera	有効/無効(Boolean)	前面カメラ : true 背面カメラ : false
LEDFlush	有効/無効(Boolean)	LED 照明
AddSuffix	string	出力結果の末尾に追加する文字 (キー入力) CR,LF,CR+LF,TAB
Indicator_LED	有効/無効(Boolean)	読取完了時に LED で通知
Indicator_Audio	有効/無効(Boolean)	読取完了時に Audio で通知
Indicator_Vibrator	有効/無効(Boolean)	読取完了時に Vibrator で通知
DisplayConfirm	有効/無効(Boolean)	読取完了時に確認画面表示

### 3.1.3 サンプルソース

以下に起動用サンプルソースを以下に記します。

- スキャンオプション指定なし(「5.1 設定方法」で設定した値が有効)

```
Intent i = new Intent(Intent.ACTION_MAIN);
ComponentName comp = new
    ComponentName("jp.casio.vx.util.whitehole.barcodescan", "jp.casio.vx.util.whitehole.barcodescan.scanactivity");
i.setComponent(comp);
startActivityForResult(i);
```

- スキャンオプション指定あり(「5.1 設定方法」で設定した値が無効)

```
Intent i = new Intent(Intent.ACTION_MAIN);
ComponentName comp = new
    ComponentName("jp.casio.vx.util.whitehole.barcodescan", "jp.casio.vx.util.whitehole.barcodescan.scanactivity");
i.setComponent(comp);
i.putExtra("Scan_Mode", "EAN8_ENABLE, UPCA_ENABLE ");
i.putExtra("Add_Suffix", "CR");
startActivityForResult(i);
```

## 3.2 読み取り結果取得方法

Intent クラスの `getStringExtra` メンバを用います。

項目	内容	備考
SCANVALUE	String	バーコード値

### 3.2.1 サンプルソース

以下に結果取得用サンプルソースを以下に記します。

```
public void onActivityResult(int requestCode, int resultCode, Intent intent) {  
    if (requestCode == 0) {  
        if (resultCode == RESULT_OK) {  
            String barcode = intent.getStringExtra("SCANVALUE");  
        }  
    }  
}
```

## 4. WEBアプリケーションから呼び出すには

WEB アプリケーション経由で呼び出し、バーコード値を取得します。

スキャンが成功した場合は、指定された URL(バーコード値を含む)を呼び出します。

ただし、このようにして呼び出された画面は、前述のソフトキーボード画面とは異なり、バーコード読み取りに特化した全画面プレビュー方式(「3 アプリケーションから明示的に呼び出すには」参照)となります。

### 4.1 起動対象URI

項目	内容
URI	casiowhbarcodscan://barcodscan/?ret=[return URL]
コード指定	{ SCANVALUE }

[return URL]内に{SCANVALUE}文字列を含む文字列を指定することで、バーコード値(スキャン結果)を指定された URL に渡します。

### 4.2 スキャンオプション

クエリーパラメータとして「3.1.2 スキャンオプション」の値が指定できます。

指定のない場合は、「5.1 設定方法」で設定した値が有効になります。

### 4.3 サンプルソース

バーコードの読み込みが成功した場合、「http://localhost/test.html?バーコード値」を開くサンプルソースを以下に記します。

- ・スキャンオプション指定なし(「5.1 設定方法」で設定した値が有効)

```
<html>
<body>
<a href="casiowhbarcodscan://barcodscan/?ret=
  http%3A//localhost/test.html?{SCANVALUE}">Start Barcode Reader</a>
</body>
</html>
```

- ・スキャンオプション指定あり(「5.1 設定方法」で設定した値が無効)

```
<html>
<body>
<a href="casiowhbarcodscan://barcodscan/?ret=
  http%3A//localhost/test.html?{SCANVALUE}&Scan_Mode
  =EAN8_ENABLE&AddSuffix=CR">Start Barcode Reader</a>
</body>
</html>
```

## 4.4 利用例

ブラウザ上のボタンを押すことで、本ツールを起動し、スキャン結果を基に Google 検索を行います。

ユーザ操作(端末画面)	内部動作(実装例)
 <p>検索キーワード入力画面でカメラマークのボタンをタッチします。</p>	<p>ボタンに以下の実装を行います。</p> <pre data-bbox="612 465 1246 600">&lt;FORM&gt; &lt;INPUT type="button" value="Search" onClick="location.href='casiowhbarcodscan://barcodscan/?ret=http://www.google.com/m/products?q={SCANVALUE}';"&gt; &lt;/FORM&gt;</pre>
 <p>本ツールが起動し、バーコード値をスキャンします。</p>	<p>本ツールは、読み取ったバーコード値を基に下記の URL を呼び出します。</p> <pre data-bbox="612 797 1118 857">http://www.google.com/m/products?q=49xxxxxxx (読み取ったバーコード値)</pre>
 <p>検索結果が表示されます。</p>	

## 5. 設定を変更するには

### 5.1 設定方法

「設定」->「言語と入力」->「Camera Scanning Keyboard」のプロパティボタンを押下し、設定画面を開きます。



### 5.2 設定内容

#### 5.2.1 1Dコード

分類	設定項目	設定値
UPC/EAN	EAN8/JAN8 読み取り許可	有効/無効
	EAN13/JAN13 読み取り許可	有効/無効
	UPC-A 読み取り許可	有効/無効
	UPC-E 読み取り許可	有効/無効
	UPC/EAN 共通アドオン読み取り	有効/無効
	UPC/EAN 共通アドオン必須設定	有効/無効
Code39	Code39 読み取り許可	有効/無効
	最小桁数	整数(1~55)
	最大桁数	整数(1~55)
	チェックキャラクタ計算	有効/無効
	チェックキャラクタ出力	有効/無効
	スタート・ストップ出力	有効/無効
	Full ASCII 変換	有効/無効
Codabar (NW-7)	Codabar (NW-7) 読み取り許可	有効/無効
	最小桁数	整数(1~55)
	最大桁数	整数(1~55)
	チェックキャラクタ計算	有効/無効
	チェックキャラクタ出力	有効/無効
	スタート・ストップ出力	有効/無効
Interleaved 2 of 5 (ITF)	Interleaved 2 of 5 (ITF)読み取り許可	有効/無効

	最小桁数	整数(1~55)
	最大桁数	整数(1~55)
	チェックキャラクタ計算	有効/無効
	チェックキャラクタ出力	有効/無効
Code93	Code93 読み取り許可	有効/無効
	最小桁数	整数(1~55)
	最大桁数	整数(1~55)
Code128/GS1-128	Code128/GS1-128 読み取り許可	有効/無効
	最小桁数	整数(1~55)
	最大桁数	整数(1~55)
Code11	Code11 読み取り許可	有効/無効
	最小桁数	整数(1~55)
	最大桁数	整数(1~55)
	チェックキャラクタ計算	Type1 Type2
GS1 DataBar	GS1 DataBar 読み取り許可	有効/無効

## 5.2.2 2Dコード

分類	設定項目	設定値
PDF417	PDF417 読み取り許可	有効/無効
MicroPDF	MicroPDF 読み取り許可	有効/無効
Composite	Composite 読み取り許可	有効/無効
	EAN 単体読み禁止	有効/無効
Aztec	Aztec 読み取り許可	有効/無効
QR/MicroQR	QR/MicroQR 読み取り許可	有効/無効
Maxicode	Maxicode 読み取り許可	有効/無効
DataMatrix	DataMatrix 読み取り許可	有効/無効

## 5.2.3 デバイス

項目	内容	設定値
カメラ	前面・背面カメラどちらを使うかを指定します。	前面カメラ/背面カメラ

## 5.2.4 ツール

項目	内容	設定値
追加出力	出力結果の末尾に追加する文字(キー入力)を設定する	「指定なし」 「CR」 「LF」 「CR+LF」 「TAB」
読取通知	読取完了時に LED で通知する。	有効/無効
	読取完了時にブザーで通知する。	有効/無効
	読取完了時にバイブレータで通知する。	有効/無効
	読取完了時に確認画面を表示する。	有効/無効

## カシオ計算機お問い合わせ窓口

### 製品に関する最新情報

- 製品サポートサイト（カシオペア・ハンディターミナル）

<http://casio.jp/support/ht/>

### 製品の取扱い方法のお問い合わせ

- 情報機器コールセンター



**0570-022066**

市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS 等をご利用の場合、**042-503-7241**

**カシオ計算機株式会社**

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

TEL 03-5334-4637(代)